

令和5年度 学校教育自己診断 結果について（報告）

【実施時期】	令和5年11月27日～12月8日
【実施方法】	保護者 アンケート用紙を配付し、回収して集計する
	教職員 Google form にて回答、集計
	生徒 Google form にて回答、集計
【提出状況】	保護者 80.1%
	教職員 100%
	生徒 95.7%（中学部 黄緑班 高等部 CD班のみ実施）

【自己診断の結果・分析】

① 保護者

回答率が80.1%と昨年並みの回答率を得た。

特に数値の低かった3項目についての分析

13 いじめについて

「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」という質問であったが、当事者にならないとどのような指導が行われているかわからないので「わからない」の数値が高かった。次年度は質問内容の見直しが必要である。

22 施設設備について

今年度はかなり修繕したという面から肯定的な回答と、まだまだ修繕箇所がいくつもあるという面からの否定的回答が得られこのような結果になったと分析した。

24 ホームページについて

昨年度よりもブログなどの更新は多くしたが、ホームページは毎日見ることがないという面もある。次年度はホームページの充実も大事にしながら、学校からの情報発信の工夫を第一に考えて、ホームページのみならず他の方法も模索していくように検討している。

② 教職員

否定的回答が20%以上の項目を見ても働き方改革がまだまだ進んでいないことを表す結果となった。特に14の項目は肯定的な回答が38%となっており、教材や備品を一括管理ができていないことでPCのファイルを探す、物を探す、書類を探す、といったことに時間を費やしていることが多い。一度全体で整理整頓をすることが重要と考える。どこに何があるかわかることで探す時間を縮小・削減し、結果的に業務時間を減らすことができるのではと考えている。

③ 中学部 黄緑班 高等部 C・D班生徒

ほとんどの項目で肯定的な回答が得られた。

交流については回数が多くないこと、近所の人との交流もほぼないことからこのような結果を得たと感じている。